

## 活動テーマ

「自分を大切に・人を大切に・ものを大切に・自然を大切に」を合言葉に、  
みんなで取り組むエコ・スクール活動

## 実践事例について

油日小学校がエコ・スクール活動に取り組んでずいぶん長くなった。コロナ禍の今年度は、多くの行事が見直されたが、油日の環境学習は、ビオトープを核として家庭・地域・地元企業と連携し、継続して行うことができた。

学級エコ宣言を核にしたエコ活動、総合的な学習の時間を中心にした自然体験活動、児童会エコ委員が中心になってのイベントができた。

## 1 学校の概要

油日小学校は、滋賀県南東部の鈴鹿山脈の麓にあり、油日岳を源流とする杣川が学校近くを流れている。2000年の3月に完成した学校ビオトープも、今では木々が大きく育ち、多くの生物が観察できる場になった。老朽化した観察机は、昨年度トムソーヤ・スクール企画コンテストで文部科学大臣賞をいただいたことで新しく設置できた。また、隣接する「親遊の森」の木々も大きく育ち、ドングリなど木の実が拾えて、よい活動場所となっている。

## 2 活動の実際

## (1) 地域と連携した活動

## ア シオノギ製薬株式会社油日植物園との連携

今年度も「くすりのまち甲賀町」のビオトープとして、シオノギ製薬(株)油日植物園の皆さんの協力を得ることができ、薬草園、在来種園を整備することができた。3年生は地域種の薬草である「アイ」を栽培した。9月に朝摘みした生葉を使い、たたき染めと絞りを加えた青汁染めに取り組んだ。

また6年生は、6月にムラサキを植え、12月に掘り起こし、神戸薬科大学の先生の指導のもと、くすり学習館で紫根染めの体験をした。家庭科の「お世話になった人へのプレゼント」の布材料とし、自分で染めた布を使って卒業制作として



プレゼントづくりをしている。

## イ 油日・上野生産森林組合との連携

4年生は、やまのこ学習で、地域の生産森林組合の方の協力を得て、学有林の見学、地域の山での間伐の見学、枝打ち・玉切りの体験をした。地域の方から「木を育てるには長い年月がかかること、先祖から受け継がれて守っていること」を聞き、地域の良さを感じる子が多くいた。

## ウ 甲南高校バイオとかがく系列との連携

3年生の薬草についての学習には、甲南高校の先生を講師として招聘し行っている。例年甲南高校の生徒の皆さんにも来ていただいていたが、コロナ禍の今年度は、願いが叶わなかった。身近な薬草を教えていただいたり、薬草ビンゴを楽しんだりした。



## エ エコ・スクール支援委員会

エコ・スクール活動を学校だけで終わらせないように家庭と連携した活動として環境フェスティバルがある。本年度は、10月23日(土)に開催した。各学年のPTA学級委員さんの半数にエコ支援委員として登録していただき、その方たちに支援していただき活動をしている。

## 【環境フェスティバル活動内容と支援、地域連携】

- 1年…アサガオのつるを使ってのリース作り  
(保護者ボランティア)
- 2年…ひつつきむしを使った絵・虫クイズ  
(エコ支援委員)
- 3年…ビオトープでの生き物見つけ  
(ラーゴ株式会社専門員)
- 4年…丸太切り、木切れを使ったクラフト作り  
(油日・上野生産森林組合、保護者ボランティア)

5年…池の微生物観察、ソーラーボート作り  
(みなくち子どもの森学芸員、オーパル株式会社)

6年…親子油日岳登山  
(保護者、甲賀山岳会)

以上の活動内容を多くの地域の方と連携することで行うことができている。

## (2) エコ委員会の活動

エコ委員会は、全校にビオトープの自然に楽しんで触れてもらえるようにしたいという思いから昼休みにクイズやゲームを取り入れた観察会やイベントをしようということになった。月2回を目標に春から秋のビオトープの自然を全校に知らせる活動に取り組んだ。

**5/10 春の草花で遊ぼう** 参加児童32名

全校児童数分届いた子どもエコクラブノートにプリントを貼っていく形で、観察会を始めた。今年度初の観察会は、ツメクサやエンドウの種類の見分け、くさり作りや池の中のメダカやカエルを見つける活動をした。

**6/3 花のクイズをしよう** 参加児童47名

ビオトープに咲いている花をクイズにして紹介した。アサザ、タイザンボクなどを紹介できた。

**6/21 オオバコで遊ぼう** 参加児童56名



ビオトープにたくさんあるオオバコを使ってすもうをしたり、筋とりをしたりした。筋とりを高学年の子が楽しむ姿が印象的だった。

**6/28 フロッタージュで遊ぼう** 参加児童61名

いろいろな葉っぱの形や葉脈を写し取る活動が面白くてたくさんの子が遊んでいた。

**7/13 虫たちの幼虫を見つけよう** 参加児童27名

幼虫という言葉で芋虫的な姿を想像し、参加数が少なかった。来年は、幼虫と言わず、バッタやコオロギの赤ちゃんと呼びかけるとよいということになった。

**9/10 秋の虫を見つけよう** 参加児童49名

秋の七草のキキョウ、オミナエシ、フジバカマを紹介したり、バッタやコオロギを捕まえてオスメスを見分けたりした。

**9/27 秋の自然クイズをしよう** 参加児童58名

ドングリやクリなど秋のものについてクイズ形式で観察会をした。クリのイガはいつから痛くなるか、ドングリの種類の見分け方は？などの問題があった。

**10/14,15 ドングリごま** 参加児童56名

クヌギのどんぐりを使ってこまづくりをした。いろいろな種類のどんぐり見つけをして、マテバシイやシイ、アラカシ、シラカシ、コナラなどを紹介できた。夢中になって探している子が多くいた。

**10/21 カモフラージュ** 参加児童58名

簡単なネイチャーゲームを楽しんだ。何度も歩いて確かめる子が多くいた。

**9/8～クリの収穫と抽選会**

ビオトープにクリがなると、毎年多くの子がクリ拾いをして楽しんでいる。拾ったクリは職員室に集められ、一年生から順に持ち帰る。全員がもらって余った分は、エコ委員会が抽選会をして、クリ日記の宿題付きで持ち帰ることができる。家庭によっては楽しみにしてくださっている。

## (3) 各学年の取り組み

### ア エコ宣言

5月10日エコ宣言集会が行われた。校長先生のキックオフ宣言と各学級で考えたエコ宣言を発表し、全校で写真を撮った。エコ宣言は、昇降口の掲示板に1年間掲示していつも意識できるようにしている。各学級からは、ビオトープなど自然に関する宣言、ものの使い方や整理整頓に関する宣言が出された。12月の終業式で中間発表としてできたことを発表した。

### イ 生活科・総合的な学習の時間

1年…学校たんけん、しぜんとあそぼう

2年…ビオトープの春夏秋冬

3年…めざせ薬草博士

4年…わたしの森林体験

5年…稲作体験、五・五交流、水環境学習

6年…油日再発見



学校名	甲賀市立油日小学校
住所	甲賀市甲賀町上野1322
電話番号	0748-88-2079
E-mail	<a href="mailto:koka30102032@city.koka.lg.jp">koka30102032@city.koka.lg.jp</a>